

## 女性部

## 施設見学会

- 日 時：令和6年7月23日（火）午前10時
- 見学先：（株）バイオス小牧  
（小牧市大字下末字野本 398）
- 参加者：18名（お子様4名含む。）

女性部（東久保真弓会長）は、廃棄物の資源循環に取り組まれている企業へ施設見学を行いました。

参加者は見学先である（株）バイオス小牧に到着後、事務棟にて同社の概要を担当者から説明を受けました。

同社は平成29年3月に設立され、微生物の働き（メタン発酵）によって、食品廃棄物からバイオガスを発生させ、再生可能エネルギーとして発電・供給する食品リサイクル・バイオガス発電事業を行っています。

処理品目は、一般廃棄物の事業系生ごみ、産業廃棄物の動植物性残さ、汚泥、廃酸、廃アルカリ、廃油。

受入量は、120t/日（固形80t + 液体40t）、発電量は約9,200MWh/年（一般家庭の約2,200世帯分の年間使用電力量に相当。CO<sub>2</sub>削減効果は年間約3,500t）です。

特徴は、①期限切れ食品等は容器ごと受入可能（分別負担を軽減）②脱炭素（カーボンゼロ）社会づくり、エネルギーの地産地消、SDGs達成に向けた循環型社会で地域社会に貢献③電気の還元サービス（創電割<sup>®</sup>）を提供。

施設の建屋は、トラックスケールでは食品廃棄物の受入、計量、前処理棟では食品廃棄物等を粉碎し発酵に適した有機物と容器、包装紙に分別します。



参加者の集合写真

酸発酵槽では酸発酵による有機物の分解（微生物のえさ）、発酵タンク&ガスホルダーでは微生物（メタン菌）の力によって有機物を発酵させバイオガスを発生、貯蔵。発電施設ではバイオガスを燃料に再生可能エネルギーとして発電。脱水機&水処理施設ではメタン発酵後の消化液を脱水汚泥と脱水ろ液に分離し、脱水ろ液は基準値まで処理し河川に放流。

概要の聴講後、参加者は各施設を見学しました。

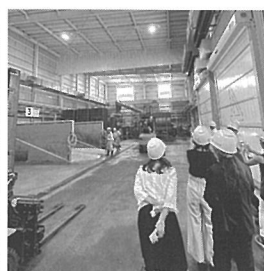
今回は夏休み期間であることから、会員のお子様も4名参加され、初めて目にする最先端の設備に興味を持って、熱心に担当者の説明に聞き入り、疑問点については積極的に質問し、自身の未来社会について真剣に考え、学ぶ時間を過ごしました。

当日、愛知県の最高気温は37℃ほどあり、酷暑の中での施設見学会でしたが、お子様を交えての事業は生きた学習が実践でき、次世代に向けた環境教育の啓発事業として大変有意義でした。

最後に、施設見学にあたり子ども用のヘルメットを（株）バイオス小牧様が購入されご準備していただきましたこと、心より感謝申し上げます。



施設概要の説明を受ける



施設内部の見学



機能の説明を受ける



施設内を見学



施設の建屋へ上がって見学